

重平葵 しんぺい 外交官、政治家。明治二十年七月二十九日大分縣生まれ、
 昭和二十二年一月二十六日歿（八七才一老）。明治四十四年東京帝國大
 學法科入學卒。外務省入省、昭和七年上海爆彈事件に隻脚となる。翌
 年外務次官、十八年外相、翌年大東亞相兼任。戰後降伏文書公調印、
 戰犯として受刑服役。二十七年改進黨總裁、衆議院議員（當選二回）。
 のち鳩山内閣の副總理兼外相、三十二年日ソ國交回復と連合國加盟を
 果たす。

著書『外交回想録』（昭和十八年九月一日毎日新聞社）、『日本国
 憲法制定の経緯とその実情』（合著、昭和十九年六月五日印刷・改
 訂）
注 憲法調査委員会 『憲法調査資料』（一） 『若き日の思ひ出』（合著、昭
 和二十年一月二十日旺文社編輯）等。